

「元茨木川緑地リニューアルシンポジウム」開催のお知らせ



茨木市を代表する緑地「元茨木川緑地」の将来“次なる元茨木川緑地”について、様々な分野の専門家を交えて考えるシンポジウムを開催いたします。ぜひご参加下さい。

開催概要

日時 平成30年2月11日（祝日・日曜日）
13:30～16:30
場所 茨木市役所 南館 8階 中会議室
定員 100名（当日先着順）※当日13時より受付
参加費 無料

内容

- 元茨木川緑地について
- 様々な視点から見た元茨木川緑地
- ディスカッション「次なる元茨木川緑地」

学識コメンテーター

赤澤 宏樹（兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授、兵庫県人と自然の博物館主任研究員）

佐藤 真治（大阪産業大学スポーツ健康学部スポーツ健康学科教授）

服部 利幸（立命館大学政策学部政策科学研究科教授、立命館大学OIC（大阪いばらきキャンパス）地域連携室長）

市民コメンテーター数名

コーディネーター

加我 宏之（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科緑地環境科学専攻・緑地計画学教授）

当日諸事情により内容に変更が生じる場合がございます。ご了承ください。

【お問い合わせ先】茨木市建設部公園緑地課 TEL：072-620-1654

次なる元茨木川緑地プロジェクト // NEWS //

確かな未来ミーティング ～次なる元茨木川緑地～ を開催しました！

元茨木川緑地のリニューアルに向けて、確かな未来ミーティングに登録されている市民の方にヒアリングをさせていただき「確かな未来ミーティング～次なる元茨木川緑地～」を開催しました。「産業・都市」「環境」「行財政・人権・協働」の分野に登録されている方にご案内させていただき、9名の方にお越しいただきました。

皆さんが共通に感じておられる自転車マナーの問題や、元茨木川緑地と周辺地域の魅力など、たくさんのご意見をいただきました。

開催概要

日時：平成30年1月20日（土）10:00～11:30
場所：茨木市役所 本館 6階 第1会議室

ヒアリングの様子

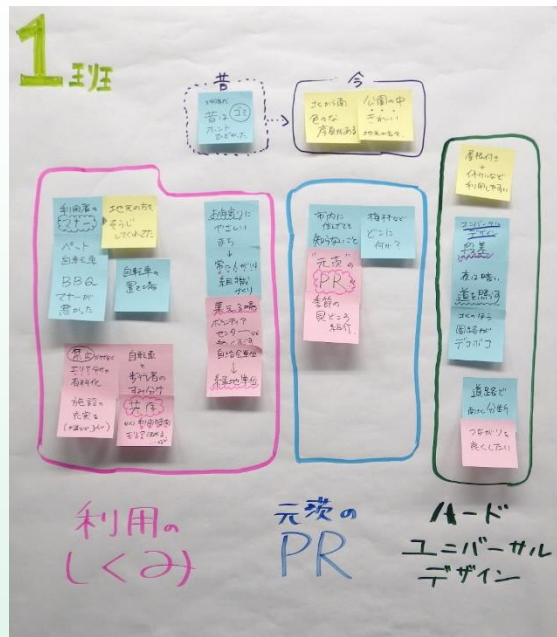


お聞きした主なご意見の内容は中面でご紹介します！！

＼中面へ！／

1 班

アイデアが豊富な1班。次なる元茨木川緑地は、様々な市民が共存できる緑地になればと、課題解決型のアイデアをたくさんお聞きすることができました。



次なる元茨木川緑地

様々な市民が共存できる利用のしくみづくりを！

課題とアイデア

使い方のアイデア

- 利用者のマナーの悪さを理由に、ペット（犬）、自転車（乗り方、置き場所）、BBQを禁止して行くのではなく、エリア分け（エリアによっては有料化も検討）や、利用時間を決めるなどの工夫をし、共存できるしくみを考えられないか。
- 公園にボランティアセンターなど集える場所があるとよい。利用者楽しく過ごしてもらおうことができるのでは。

人にやさしいアイデア

- お年寄りにやさしいまちを目指して、元茨木川緑地に、常に人がいるような運営組織づくりができるとうよい。
- ちょっとした段差は、気がつきにくく、つまずきやすい。ユニバーサルデザインに配慮して、段差を解消できるといい。
- 上から照らすタイプの照明は、足元が暗いので、高齢者が転倒する危険性が高い。園路を中心に利用者の足元を照らすタイプの方がよい。
- 水道やトイレがもっと充実すると嬉しい。
- 休憩所に屋根がついていると利用しやすい。

管理運営のアイデア

- 茨木川緑地に隣接する自治会が一緒になって、単独の自治会単位ではなく、元茨木川緑地単位という考え方で、清掃など色んなことに取組んでいけるとよいのでは。

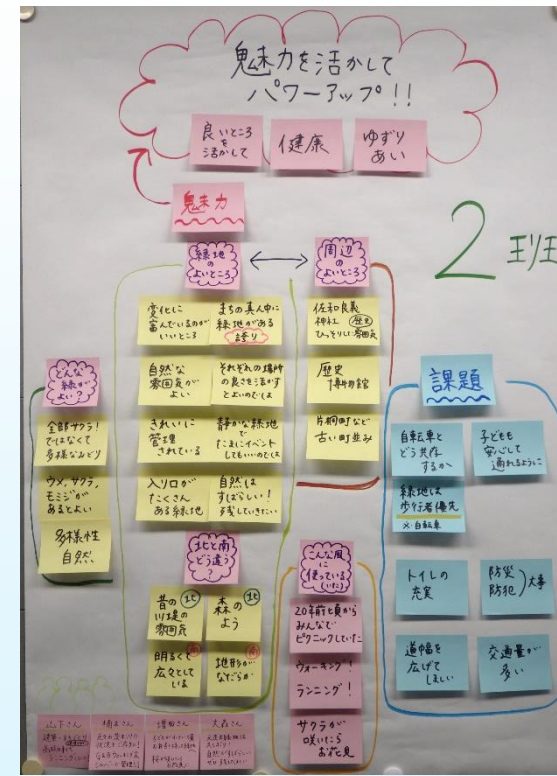
PRのアイデア

- 季節の見どころ紹介など、色々な情報を常に発信し、元茨木川緑地のPRをもっとすることで、より多くの市民が訪れてもらえるのではないかな。



2 班

褒め上手な2班。次なる元茨木川緑地は、豊富な魅力を活かしてパワーアップできればと、元茨木川緑地の魅力をたくさんお聞きすることができました。



魅力を活かしてパワーアップを！

元茨木川緑地と周辺地域の魅力

元茨木川緑地の魅力

- まちの真ん中に緑地がある。市民の誇り。
- 自然が素晴らしい。残していきたい。
- 自然な雰囲気、静かな緑地がよい。でも、たまにはイベントしてもいいのではないかな。
- 変化に富んでいる。それぞれの場所の良さを活かすとよいのではないかな。
- きれいに管理されている。
- 緑地への入り口がたくさんあってよい。

周辺の魅力

- 佐和良義神社は、歴史もあって、ひっそりとした雰囲気がよい。
- 文化財資料館が近くにある。
- 茨木城跡や片桐町などの古い街並みがある。

魅力の活用

- 自然の多様性を活かす。サクラだけではなく、多様な緑があるとよい。
- ウメ、サクラ、モミジがあり、季節感が感じられる緑地がよい。
- 周辺の歴史資源と一体的になっていくとよい。

課題

- 緑地は歩行者優先。子どもも安心して通れるように、自転車とどのように共存するかが課題。
- 防災、防犯への対応が大事。
- トイレが充実するとよい。
- 自動車の交通量が多い。道幅を広げられないかな。